



さだボイス



作者：娘 6月号

(鈴木さだはる後援会だより No.13)

ごあいさつ

日頃は「鈴木さだはる後援会」に対し、ご支援ならびにご協力を賜り感謝申し上げます。

木々の緑が色濃くなる時期となりました。今年は、今まで以上に緑が多く感じ取れるのは、私だけでしょうか？

6月定例会が、下記の日程にて開会されます。今定例会では、刈谷市子ども医療費支給条例、法律に基づく個人番号の利用に関する条例、刈谷市国民健康保険税条例、刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正などが審議されます。注目をお願いします。

【議会情報】

6月定例会開会（会期：6月5日～28日…24日間）

日程

月日	曜日	会議名
6月5日	(水)	本会議（開会、一般質問など）
6月6日	(木)	本会議（一般質問など）
6月7日	(金)	本会議（一般質問など） 予算審査特別委員会
6月13日	(木)	企画総務委員会 予算審査特別委員会企画総務分科会
6月14日	(金)	福祉産業委員会 予算審査特別委員会福祉産業分科会
6月17日	(月)	建設委員会 予算審査特別委員会建設分科会
6月18日	(火)	市民文教委員会 予算審査特別委員会市民文教分科会
6月27日	(木)	予算審査特別委員会 議会運営委員会（運営を協議）
6月28日	(金)	本会議（委員長報告、議案採決など）

6月定例会では

報告案件 9件

単行議案 7件

}	人事案件	1件
	訴えの提起	1件
	工事請負契約の締結	5件

条例議案 4件

予算議案 3件

請願 2件

陳情 2件

※開会時間は、各日10時～です。

傍聴できますので、時間の許す限り

足を運んでいただくと幸いです。

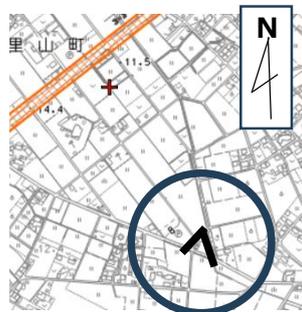
令和6年度刈谷市事業「都市基盤」の一部を紹介

「市道02-5号線他道路新設改良事業」

事業費：153,600千円

事業の概要

県道宮上知立線により分断された地区の安全性及び利便性を確保するため、県道の周辺道路を整備する。（一里山町）



「市道02-14号線他道路新設改良事業」

事業費：130,000千円

事業の概要

市民の利便性を向上させるため、一般廃棄物処理場へのアクセス道路及び泉田地区の幹線道路としての道路を整備する。（泉田町）



裏面に続く

「公共交通再編事業」

かりまるバス

事業費：42,526千円



事業の概要

公共交通の更なる利便性向上を図るためかりまるの路線再編や運営手法の検討及びデマンド交通「チョイソコかりや」の実証実験を行う。



チョイソコかりや

「JR刈谷駅総合改善事業」

完成イメージ

事業費：861,591千円



事業の概要

JR刈谷駅の通勤・通学時等における安全性の確保及び利便性の向上を図るため、ホーム拡張、ホームドア設置、コンコース拡張及び改札増設等の改良工事を行う東海旅客鉄道株式会社に対して補助を行う。

「刈谷桜町地区優良建築物等整備事業」

事業費：121,500千円

事業の概要

都市活動の中心的な役割を担う拠点として、魅力的な都市空間の創出を目指し、低未利用地の活用やまちなか居住の誘導を図るため、複合施設を整備する民間事業に対して支援を行う。(桜町)



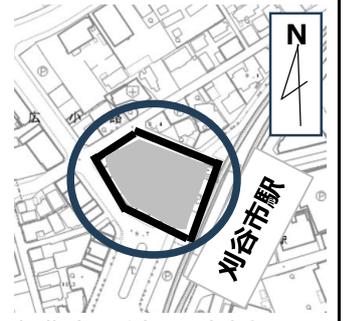
刈谷駅

「刈谷広小路A地区優良建築等整備事業」

事業費：479,900千円

事業の概要

歴史と文化にふれる地域の玄関口として、魅力的な都市空間の創出を目指し、低未利用地の活用やまちなか居住の誘導などを行うため、複合施設を整備する民間事業者に対して支援を行う。(広小路)



刈谷市駅

ユタクラブ議員協議会「第52回 定期総会」・「議員研修会」開催

とき/令和6年5月25日(土) 14:00~16:30

定期総会では、令和5年度の事業報告と令和6年度役員体制、事業計画の提案があり、すべて承認されました。

研修会では、いそぎ哲史参議院議員を講師にお迎えし

「次世代における自動車産業の発展に向けて」と題し受講。



所感⇒働く仲間の雇用と生活を将来にわたり守るためにも連携をしながら活動していくことを改めて認識しました。



いそぎ動画

※ユタクラブ議員協議会とは…トヨタグループ出身の



議員で構成されている団体で、個々の議員が自己研鑽や連携しながら活動する団体。

【6月の予定】

5日~28日
6月議会(定例会)
8日 クインシーズ感謝祭
9日 刈谷市消防操法競技会
15日 河川愛護運動(清掃)
29日 発明クラブ50周年式典

【6月の暦】

5日 芒種(ぼうしゅ)
10日 入梅(にゅうばい)
16日 父の日
21日 夏至(げし)
30日 夏越の祓
(なごしのはらえ)

【あとがき】

5月に台風1号が発生しました。1951年以降の統計によると今回は、7番目に遅い発生だということです。私自身も意外な驚きでした。過去10年を見ても発生が一番多い月は、なんと1月で5回発生。最も早かったのが、2019年1月1日に発生したようです。台風発生のカウントは、日本に接近、上陸したもののだけ数えるのではなく、北西太平洋で最も早く発生したものを順にカウントするようです。ちなみに一番遅かったのは、1998年7月9日。これからの季節、特に気象情報については、情報をしっかりつかみ平時からの自助防災含めた備えが重要です。